

(報告) 福島第一原子力発電所 多核種除去設備等処理水希釈 放出設備の環境整備について

2022年7月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

環境整備の進捗状況と今後の実施予定について

- 5・6号機取水口付近における陸上の環境整備は、放水トンネル設置および放水に必要な立坑（下流水槽）の土留め壁設置・掘削を2021年12月から開始し、3月に完了しています。また、放水トンネルの設置工事に使用するシールドマシンを、4月から立坑（下流水槽）内で保管していますが、同工事を安全最優先で進めるため、土留め壁において、湧水確認調査等を7月12日以降実施します。
- 加えて、立坑（上流水槽）の土留め壁設置・掘削を6月2日から実施しています。
- 一方、海上の環境整備である、放水口ケーソン※を設置する海底面の掘削は、5月5日より作業を開始し、6月27日に完了しました。掘削後の海底面を被覆するため、7月3日に起重機船で捨石を海底面に投入を完了した後、7月4日から捨石の表面をならす作業を開始しています。
- また、構外において3月14日から放水口ケーソンの製作を実施してまいりましたが、7月8日に製作を完了しました。準備が整い次第、小名浜港まで海上運搬を行う予定です。
- これらの環境整備は、実施計画の変更を伴う設備構築には該当しません。また、放水トンネル工事等は、実施計画の認可等を踏まえて実施してまいります。
<7月11日までにお知らせ済み>

- 陸上の環境整備では、立坑（下流水槽）において、トンネル工事を安全最優先で進めるため、シールドマシンの掘進を開始する土留め壁において、地下水による湧水確認の調査等を7月12日より開始し、7月23日に調査を完了しました。その結果、地下水による湧水は確認されておりません。今後、シールドマシンを土留め壁近くまで移動させる等し、放水立坑（下流水槽）の環境整備を完了する予定です。
- 立坑（上流水槽）の土留め・掘削等については、土留め工を進めており、引き続き作業を継続してまいります。
- 海上の環境整備では、掘削後の海底面を捨石による被覆およびならし作業を7月4日までに実施した後、深浅測量および潜水士による確認を行い、7月22日、放水口ケーソンを据え付けることが可能と判断し、海上の環境整備を完了しました。



※ 基礎工事や港湾工事に用いられるコンクリート製の箱状の構造物

日常的に漁業が行われていないエリア
東西1.5km 南北3.5km

【参考】環境整備（海上）期間中の海水モニタリング結果

➤ 実施概要

海上の環境整備において、作業中に海水サンプリングを行い、作業による海水中セシウム濃度の上昇がないことを確認しました。

➤ 結果

2022年7月20日までのモニタリング結果は、全て不検出（ND）であり、海水のセシウム濃度に有意な変動は確認されませんでした。



【参考】環境整備（海上）期間中の海水濁度のモニタリング結果

➤ 実施概要

海上の環境整備のうち、海底掘削作業において、工事区域境界（4か所）にて濁度計による測定を行い、作業により工事区域外に濁りの拡散がないことを確認しました。

➤ 結果

2022年7月20日までの濁度測定結果は全て管理値※未満であり、また目視による濁度確認の結果からも、作業に伴う工事区域外への濁りの拡散は確認されませんでした。

※管理値

濁度をSS（浮遊物質量、mg/L）に換算し、SSがBG値（作業前の測定値）+10mg/Lを超えないことを確認します。

作業日 (測定日)	濁度測定結果			
	A	B	C	D
2022/5/21	○ (2.0)	○ (3.0)	○ (1.3)	○ (0.7)
2022/6/3	○ (2.5)	○ (2.4)	○ (1.6)	○ (1.5)
2022/6/18	○ (6.8)	○ (7.6)	○ (4.6)	○ (5.1)
2022/6/19	○ (4.4)	○ (8.7)	○ (2.5)	○ (5.6)
2022/6/21	○ (4.0)	○ (4.5)	○ (3.0)	○ (3.8)
2022/6/22	○ (6.4)	○ (5.7)	○ (6.9)	○ (4.7)
2022/6/26	○ (4.7)	○ (6.7)	○ (4.4)	○ (8.2)
2022/6/27	○ (5.0)	○ (3.7)	○ (3.5)	○ (5.1)
2022/7/3	○ (8.5)	○ (4.9)	○ (2.4)	○ (3.5)
2022/7/4	○ (3.7)	○ (5.2)	○ (5.1)	○ (2.3)

※至近の10日分（作業日）の測定結果を示しています。

判定：管理値未満○、管理値以上×

